

2020年7月28日



キリスト教センター 通信 Vol.10



激励メッセージリレー

タイトル 『 プリーズとサンキュー 』

キリスト教センター主務 石原 正彦 さん

イギリスでは、親が子どもに最初に教える言葉が PLEASE と THANK YOU だそうです。「どうぞ」と「ありがとう」、なんと大切な言葉ではないでしょうか。「思いやりと感謝」は昨日教わって、今日できればよいものではないです。一生行い続けることです。イギリスでは家庭で教えているということは、まず親子で、家庭で「思いやりと感謝」の心のキャッチボールを実践していることになります。そして親から子どもへ自然に受け継がれています。

ある時、私は電車の中で高校生がお年寄りに席を「どうぞ」と譲っていました。お年寄りには「ありがとう」と頭を下げながらお礼を言っておられました。その空間は和らいだ空気が漂っていました。

国や言葉、文化、習慣が違って「思いやりと感謝」は万国共通です。他者のためにすることは、それは自分に返ってくるのだと思います。

一日の中でたくさん「どうぞ」という場面があるでしょう。その分だけ「ありがとう」の言葉が返ってくるはずですが、コロナウイルス感染渦の中、「思いやりと感謝」を大切にしませんか。

キリスト教 一回が宅 「アーメン」

キリスト教と聞いて誰もがまず思い浮かぶ言葉の一つがこの「アーメン」という言葉ではないでしょうか。「アーメン」は元々ヘブライ語の言葉ですが、今は英語やフランス語をはじめ、世界各地で、宗教用語としてそのまま「アーメン」という言葉で使われています。

意味は「そうです!」「その通りになりますように」などの意味がありますが、仏教でいうところの「蘇婆訶(そわか)」と同じような使い方になるようです。

関西弁では「せや!」島根弁では「そげ」沖縄では「アクトゥヤー」に近いニュアンスかもしれません。この「アーメン」を使いこなせば、国際人へ一歩前進するかもしれません。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

豪雨災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

